

## 第1回折り紙教室（2015年12月15日）



## 第2回折り紙教室（2016年1月20日）



2015年12月15日、在日ロシア連邦通商代表部にて折り紙教室を開催いたしました。

20名のロシアの方々と3名の日本の方々と含めてなごやかに折り紙を楽しみました。

題材は「着物を着た人形」ということで、私の作品の「りぼんちゃん着物バージョン」を折っていただきました。少し難しいところもあり、限られた時間の中、通訳のオクサーナさんや千葉麻里さんのお力をお借りして一つ一つ折っていきました。メンバーの中には子どもも多く参加されていましたが、熱心に聞いて少しお手伝いしてもらいながら全員折上げることが出来ました。リボンの帯を折ったときは、広げるとリボンの形に変化するのをみて「おー！」という声があがりましたが、一枚の折紙が形になっていく素晴らしさを感じていただけたのかもしれない。お人形が終わり、「2016年の干支（申）を折りますか」と尋ねると、すでに時間も過ぎていたのですが、「もちろん」という元気な子供たちの声で、最後に親子猿も折ることができました。

少し作品を持参し飾らせていただきましたが、それをご覧になる皆さんの目がキラキラ輝いてとても嬉しく思いました。平面的な紙が色々な立体の形の作品にもなっていく折り紙の世界に少しでも入っていただけたのではないかと、とても有意義な会となりました。通訳のオクサーナさん、ありがとうございました。また、お手伝いして頂いた交流協会の方々、この会を開催して下さった通商代表部のエレナさんはじめご参加の皆様、本当にありがとうございました。

通商代表部の皆様からのリクエストがあり、この折り紙教室を継続していくこととお約束し毎月開催することが決まりました。四季折々の作品を皆さんと折っていく予定です。折り紙を通してロシアの方々と国際交流ができることに感謝いたします。

日本折り紙協会講師 小倉隆子  
（「日ロ交流」紙2016年2月号掲載）